



校報

けむやま

矢巾町立煙山小学校
H29.6.26(月) 第5号
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2
Tel.697-3163

心星ひとつ

時を守り 場を清め 礼を正す
～ 修学旅行 ～

高め合おう 礼節を重んじ美しく

「励みになります！」ホテルの女将さん(らしい人)の満面の笑顔。

修学旅行で宿泊したのは秋保温泉グランドホテル。修学旅行の2日目の朝、お世話になった旅館の方々にメッセージを置いてきました。

「真心には真心で。」旅館で過ごすにあたって、礼節の一つとして子供た

ホテルの天上を見上げて…
「豪華だなあ」

煙山小学校個人情報規定により
氏名・写真等を非公開とする。

ちに伝えたメッセージです。「お金を払っているから何をしてもいいというのではない。」

「このホテルには、一生の思い出としてゆっくり楽しく過ごしたいと思って来ている方々もいる。」

「ホテルの人たちは、そのために真心のサービスをしている。」

【修学旅行 行程】

1日目

- 平泉 金色堂
- 松島 五大堂 瑞巖寺
- 仙台 うみの杜水族館

2日目

- 仙台市内 班別研修
 - ・科学館 ・青葉城跡
 - ・歴史民族博物館
 - ・日本銀行 ・動物園等
- 八木山ベニーランド

「そういう思いを分かる人になっ
「一流のホテルに泊まるならば一
行動しましょう。」と伝えました。

夜の反省会の後でホテルの方々
ろう全てのメッセージに目を通す
したが、真心込めてお世話してい
たんに向けて、子供たちは「真心」
にぱい綴っていました。



てほしい。」
「決まらずに、お相撲
フアンかな？」
「お相撲
間違っては
ないです。」
「お相撲
間違っては
ないです。」

松島のお店の看板
「みなみべや」と読
んだS君。

こういう人としての生き方の流儀として、相手のことを思いやる生き方をしてほしい。

その生き方考え方、信条を「心星(しんぼし)」と言うのだそうです。

煙山小学校個人情報規定により
氏名・写真等を非公開とする。

今回の修学旅行の結団式で心星の一つとして示した「時を守り、場を清め、礼を尽くす」こと。子供たちなりにその心星のかすかな光が見付けられたらいいなと思っていましたが、冒頭のホテルの女将さん(らしい人)からの感謝の言葉をいただき、嬉しく思いました。

この子供たちのお陰で、私にとっても思い出深い修学旅行となりました。

煙山小学校個人情報規定により
氏名・写真等を非公開とする。

うみの杜水族館のお買い物で、
はいポーズ！

五大堂、熱心にメモをとる。「ね、うし、
とら、う、たつ、み…」方角を確認！



美しい環境が、美しい心を育てます。今年度第1回目のPTA環境奉仕作業が、雨上がりの6月3日(土)、7時より行われました。子供たちも含め、200名以上ものPTAの皆さんが校舎を磨きました。

そして、おやじの会では、学校農園のマルチシートかけ、花壇のチューリップの球根抜きなど、外回りの仕事に精を出していただきました。

早朝よりの奉仕作業心から感謝申し上げます。

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

ん。右往左往しながらバッテリーを取り外して一件落着。とんだハプニングもありましたが、親子一緒に熱心に心肺蘇生法とAEDの扱いの講習を行いました。

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

【特別支援教育 NOW】 3
～合理的配慮2～

子供たちの自立と社会参加を進めていくにあたり、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みを創り上げていくことを目的とし、障がいのある児童及び保護者に対して、その願いを実現するための学びの環境を創出するために、学校と行政がそれぞれの立場でその役割を果たしていくこと、その配慮義務のことを合理的配慮といいます。

Aさんの事例。
「どうしてあの子は、教卓の前で勉強しているのですか。あれは差別です。あの子は勉強ができないというレッテルをはっているのではないですか。人権問題です。」

ある学校でこんな声が聞かれることがあったそうです。

人権問題かどうかは分かりませんが、この子は周りの動きが気になりだすと先生の話すことや、ノートをとることさえもできなくなります。そして、ついには立ち歩くことにより、周りの子の学習の妨げになってしまいます。あるいは、自分の思い通りにならないと騒ぎ出すこともあるということです。さて、どうしたらよいものか。続きは次回に…。



救命救急法講習会

6月18日。過去最多！92名の参加を得て行われた救命救急法講習会。

日本赤十字社岩手県支部の佐々木孝司さんが講師としておいでくださいました。

練習用のAEDの説明の際に、田中教諭が本物を見せました。

「本物はこれです。このボタンを押すと作動しますが…」

と言いつつ、なんと、そのボタンを押してしまった！さあ大変。

誤作動で本作動！

警告音が鳴りっぱなし、止まりませ



雲問

山下景子さんの「美人の日本語」という文庫本がある。6月26日のコラムは「雲問」◆雲問の太陽、雲問の青空、望むことが多いものだが、晴天の青空はかえって味気ない◆雲が演出してくれるさまさまなシーン。雲がなければ、空は退屈なものになってしまふ◆どんよりとした雲が空を覆う季節だが、雲があつてこそ、美しく感じられる景色もある、と綴る◆楽しい修学旅行であつたが、それも過ぎてしまえば夢の如し。流れ行く雲のごとく、日々の生活に戻っていく。その日々時々覆われる雲の合間に差し込む太陽の光や青空に励まされ、喜びも新鮮で味わい深くなっていく◆楽しいこと、悲しいこと、楽なこと、辛いこと、これらはいつも対になってあるものなのであろうか◆山下さんは最後にこう綴る。心が曇った時は、曇り空を眺めるような気持ちで、変わりゆく景色を眺めてみませんか。雲は絶えず流れています。